

Together

Shukutoku University Magazine
No.237 | 2022.4.1

学生×学長対談
先輩・後輩で支え合う
学びが成長につながる

Special report特集 第8回学生生活実態調査の結果

ウィズ・ユー 在学生紹介
チャンスをつかみ、成長への扉を開いた7人

淑徳人 No.235 Interview

10年のキャリアを経て大学での
学びに立ち返る

ともいきのこころ
学祖・長谷川良信先生の足跡
CAMPUS NEWS



 淑徳大学
SHUKUTOKU

表紙：埼玉キャンパスLA（ラーニングアシスタント）の皆さん（写真左上から）平田 優奈さん、福井 遥さん、山下 華奈さん、小谷 真太郎さん、児玉 大和さん、弘中 美砂季さん

ご入学おめでとうございます。

ようこそ 淑徳大学へ。

あなたが大学での学びを、ここ淑徳大学に定められたご縁に感謝し、成長したいと願い、主体的に学び、行動する限り、私たち教職員はそれをしっかりと応援します。

淑徳大学での学びを通して、本学の建学の精神「利他共生」（＝他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる）と「大学の歩み」を理解し、社会人となつていくための基礎力や各学科の専門的知識・技能等を身につけ、さらに、サークルやボランティア活動などを通して、自分の生き方を探求していきましょう。

学生時代に、あなたにしか出来ないことへ挑戦していきましょう。

勇気を持って、はじめの一歩を踏み出してください。

学生時代に、あなたにしか出来ないことへ挑戦していきましょう。



学長
山口 光治

INTERVIEW

学生×学長対談

先輩・後輩で 支え合う学びが 成長につながる



経営学部1年次のLAプログラムでは、リーダーシップやコミュニケーション力を強化し、実社会で役立つスキルを身につけます。プログラムをサポートする5人のLAと山口光治学長が、LAを通じて得た学びや成長について話しました。

1年次の先輩への憧れが LA挑戦への原動力に

LAのサポートを受ける立場だった1年次から、サポートする側になつた今、どのような変化がありますか。

【福井】1年次はLAの先輩方を見て、その姿に憧れたことを覚えています。学年が1年しか変わらないのに、広い視野で物事を捉え、的確なアドバイスをくれる先輩方との力の差を感じました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするという点です。1年生



LAの経験から、
リーダーシップへの考え方を
教えてください。

【山下】このプログラムをきっかけに、リーダーシップの捉え方が変わりました。それまでは、リーダーシップといえば人を引っ張っていくことだと思っていましたが、それだけではなく、誰かのサポートや縁の下の力を持つのような役割もリーダーシップだと気づきました。

【児玉】誰もが個性を活かしたリーダーシップを持っているんですね。リーダーシップに関する視野が広がりました。

【学長】リーダーとしてメンバー個々の力をいかに引き出すかも重要な点で、活かしていくたいですか。

【小谷】受講生との関わりの中でも、「こうすればよかつた」という反省もありました。そこから学んだことや得たスキルが多く、これからもトライ＆エラーを繰り返しながら成長していきたいです。

【山下】自分の意見を述べたり、話の糸口をつくつたりといったコミュニケーションを、さまざまな人間関係や場面で活かしたいです。

【学長】他者をサポートする中で、自然と自身も成長するというのもあります。学生たちにとって、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

グラムに取り組む学生たちは、皆モチベーションが非常に高いですよ。

【福井】私たち、1年生がテーマを考えるためにヒントを出し、プランを練るサポートをします。企業の社員の方もアイデア出しの段階から参加され、現場の声を聞かせてくださいます。貴重なお話を聞かせてもらいながら、アイデアを考えていく流れです。

【小谷】1年次から企業の方と関わるのは貴重な機会です。企業の方の視野の広さや、豊富な専門的知識には圧倒されました。

【児玉】声も反映させた、実践的な授業ですね。

【学長】内容が認められれば提案したアイデアが実際に採用されることもあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、間関係や場面で活かしたいです。

【山下】自分の意見を述べたり、話の糸口をつくつたりといったコミュニケーションを、さまざまな人間関係や場面で活かしたいです。

【学長】他者をサポートする中で、自然と自身も成長するというのも素晴らしい。LAで得たことは皆さんにとって財産です。これからさらなる飛躍を期待します。

【児玉】旅行事業を手がける株式会社エイチ・アイ・エス様にご協力いただき、10年後に取り組むべきビジネスプランを提案するとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするという点です。1年生

【児玉】旅行事業を手がける株式会社エイチ・アイ・エス様にご協力いただき、10年後に取り組むべきビジネスプランを提案するとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

【福井】それは私も感じます。大勢の前で話すことは緊張するので、LAになる以前は避けていたのですが、今は「頑張ってみよう」と思えるようになりました。

【山下】1年生の頃LAの先輩がフレンドリーに接してくれたことが印象的でした。今はそのことを思い出して、後輩たちが発言やすい空気をつくるように意識しています。

【学長】このプログラムの大きなポイントは、先輩が後輩をサポートするとい

う今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】実際のビジネス現場の声も反映させた、実践的な授業ですね。

【児玉】今年度はどのようなテーマに取り組みましたか。

【学長】内容が認められれば提案

したことあります。学生たちにとって、提案が社会の中で活かされるチャンスがあるのは、大きなやりがいであります。だからこそ、夢だけでなく、本当に実現できるのか、具体的な内容まで詰めていくのです。このプロ

セミナーでは、誰かのサポートや縁の下の力を持つような役割もリーダーシップだと気づきました。

Special report

特集

第8回

学生生活 実態調査 の結果

調査の概要

本調査は、学部生が日頃本学の教育等に対してどのように考え、どのような学生生活を送っているか等を把握することを目的として、4年に1回実施しています。対象者は2021年7月5日時点の学部学生4,757名で、有効回答率は80.4%でした。

実施期間は2021年7月5日(月)～7月28日(水)

調査結果

1. 淑徳大学を選んだ動機

大学全体をみると、「所属する学科・コースの専門的な勉強をしたかった」51.9%、「免許や資格を取得できると思った」47.2%、「将来つきたい仕事に必要な勉強がしたかった」44.8%が上位3位だった。およそ半数の学生が、「専門的な勉強をし、免許や資格を得ること」によって、「希望通りに就職する」ために本学を選んだと回答しており、これは、前回や前々回の調査結果と同じである。

2. 学生生活の状況

(1) 部活・サークルに加入している

加入している学生は46.5%であった。学部によるバラツキが大きく、最も高い教育学部が63.2%であるのに対し、最も低い看護栄養学部では28.7%であつた。

(2) 大学の成績はよい方だと思う

「あてはまる」「やあてはまる」の合計は43.1%であった。学部別みると看護栄養学部以外の学部は40～50%であった。看護栄養学部は26.5%で、唯一30%を下回った。

3. アルバイトの実施状況

現在アルバイトをしている学生は74.9%であった。学部別みると、総合福祉学部75.1%、コミュニティ政策学部79%、看護栄養学部72%、経営学部78.3%、教育学部81.6%、人文学部66.5%であり、教育学部が最も多く、人文部でやや少ない傾向がみられた。

4. パソコンの所持状況 (自分専用、家族と共有)

「自分専用のパソコンがある」は85.3%であった。学部別みると、最も多い人文学部で90.1%、最も少ないコミュニティ政策学部で79.6%であった。また、「家族と共にパソコンがある」は47.2%であった。学部別みると教育学部が最も多く50.8%、最も少ないのは経営学部で42.3%であった。所有形態を問わずパソコンを所有している学生は全体の97.9%であった。

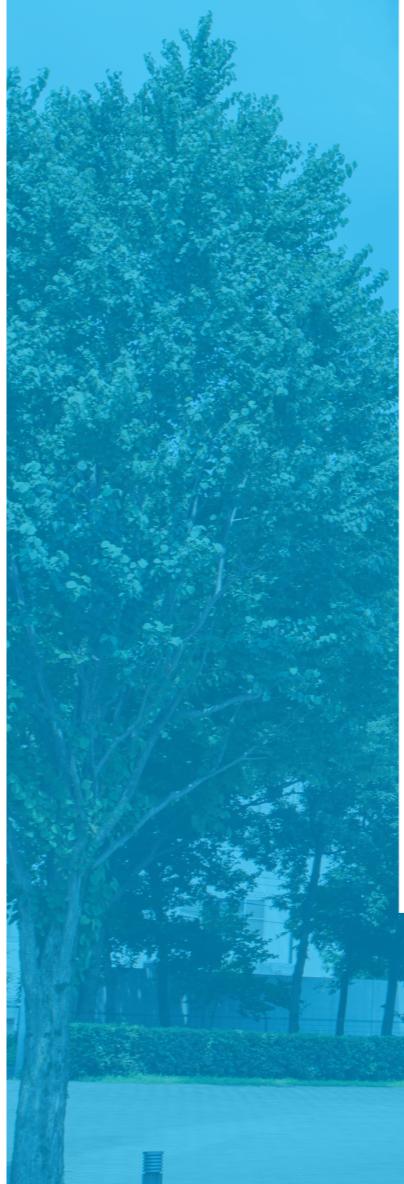
5. 友人関係及び教職員との関係

(1) 友人がいる

「あてはまる」「やあてはまる」の合計は77.8%であり、前回調査から大きな変化はなかった。学部別みると、総合福祉学部75.6%、コミュニティ政策学部69.7%、看護栄養学部82.3%、経営学部77.9%、教育学部85.7%、人文学部75.9%であった。

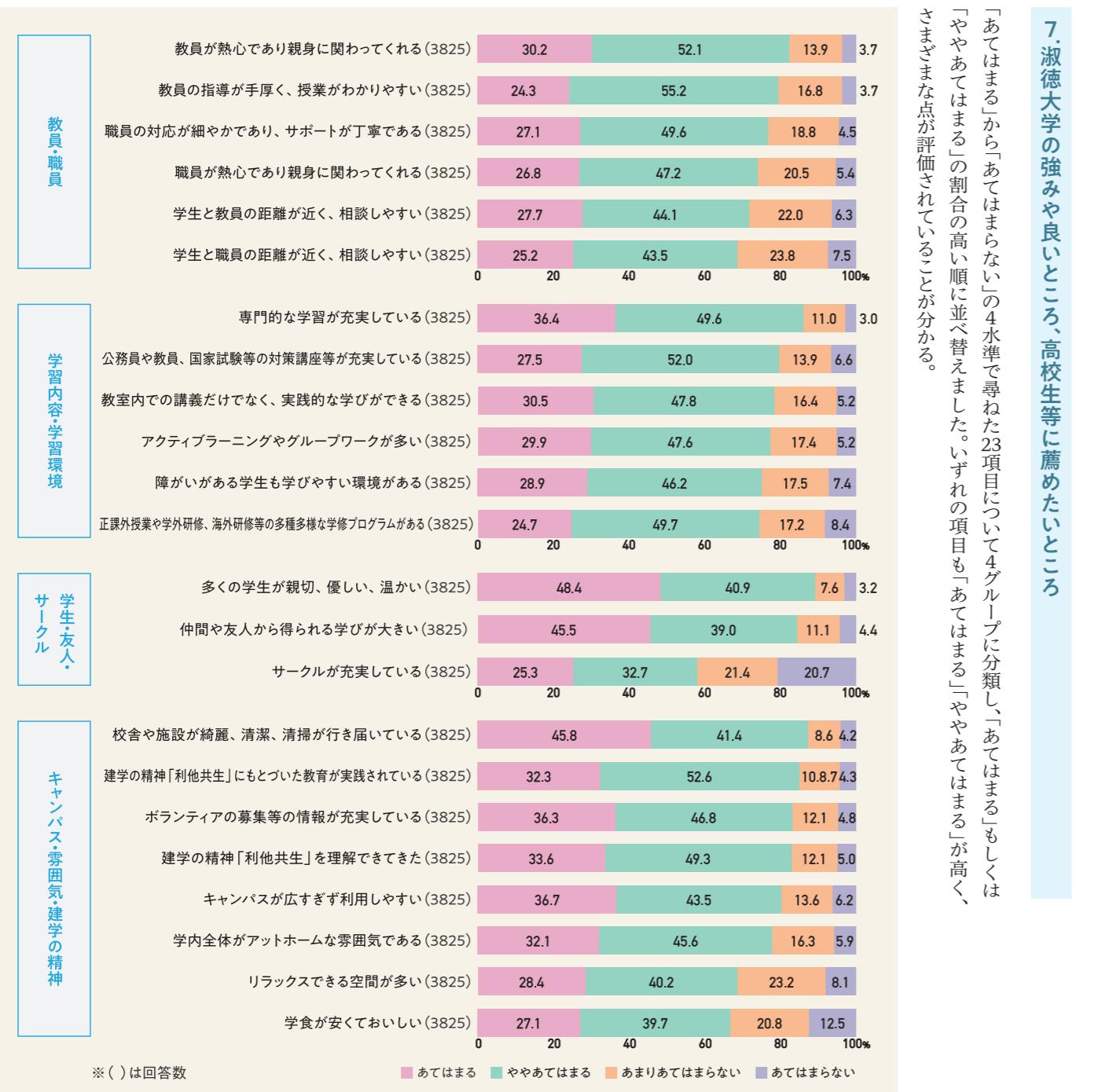
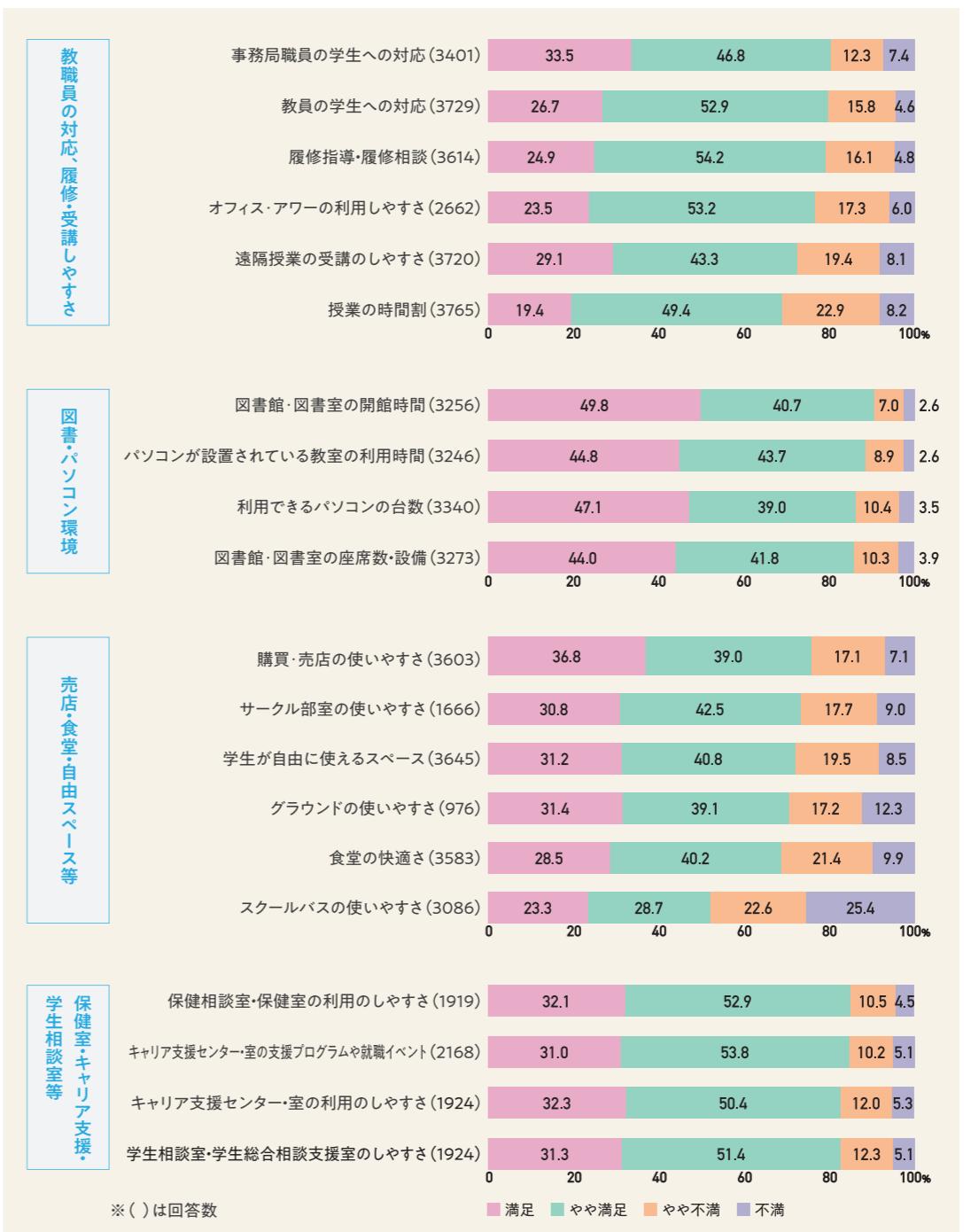
(2) 大学内に悩みごとを相談できる教職員がいる

「あてはまる」「やあてはまる」の合計は45.8%であった。前回調査に比べ8.6%増加した。学部別みると、総合福祉学部37.7%、コミュニティ政策学部42.1%、看護栄養学部43.7%、経営学部50.2%、教育学部54.7%、人文学部55.9%であった。



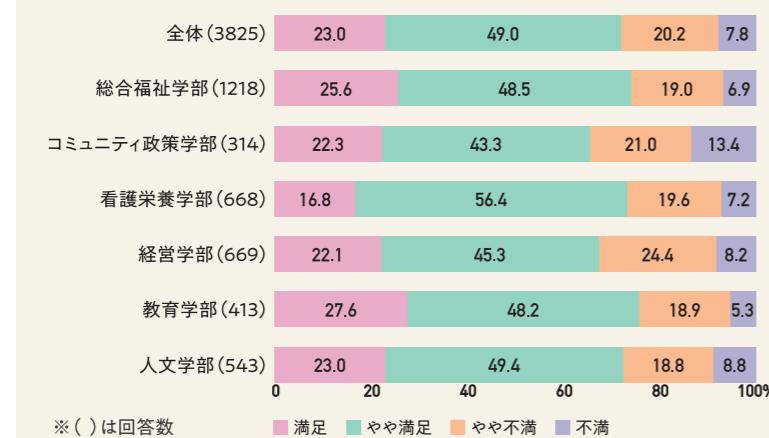
6. 教育環境の満足度

次の20項目について、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」および「該当しない（一度も利用していない等）」の5水準で尋ねた。「該当しない」の回答を除いた上で、「満足」もしくは「やや満足」と回答した割合の高い順に並べ替えると、次のような結果となった。



「あてはまる」から「あてはまらない」の4水準で尋ねた23項目について4グループに分類し、「あてはまる」「ややあてはまる」の割合の高い順に並べ替えました。いずれの項目も「あてはまる」「ややあてはまる」が高く、さまざまな点が評価されていることが分かる。

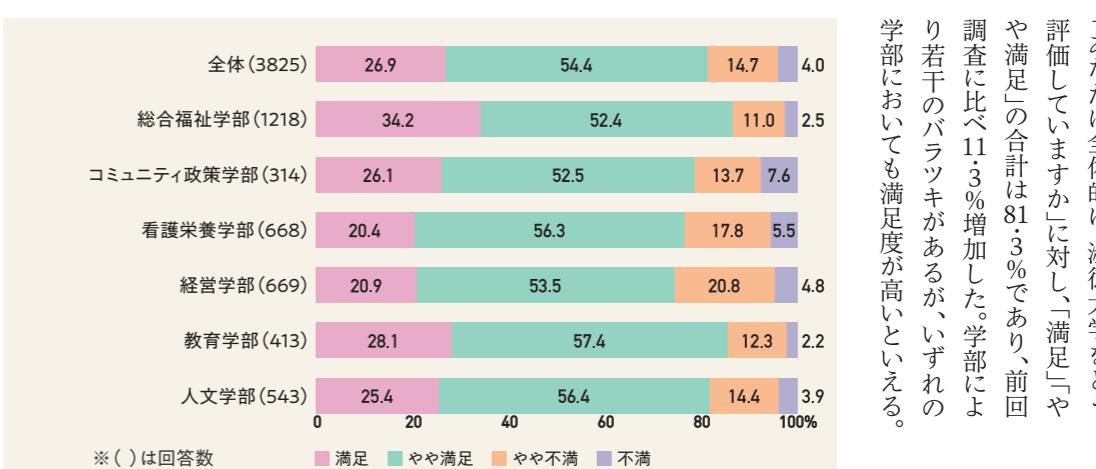
7. 淑徳大学の強みや良いところ、高校生等に薦めたいところ



第8回学生生活実態調査の結果詳細はこちら



(2) 学生生活の総合満足度
「あなたは全体的に、自分の学生生活をどう評価していますか」に対し、「満足」「やや満足」の合計は72%である。学部により若干のバラツキがあるが、いずれの学部においても6割を超える学生が「満足」「やや満足」と回答している。



(1) 淑徳大学の総合満足度

「あなたは全体的に、淑徳大学をどう評価していますか」に対し、「満足」「や満足」の合計は81.3%であり、前回調査に比べ11.3%増加した。学部により若干のバラツキがあるが、いずれの学部においても満足度が高いといえる。

8. 淑徳大学、学生生活の総合満足度

**在学生
Student introduction
紹介**

チャンスをつかみ、成長への扉を開いた7人



佐藤 実桜さん
人文学部 表現学科 2年
担当:日本語音声

小向 今日子さん
人文学部 表現学科 3年
担当:日本語音声

藤田 和奏さん
人文学部 表現学科 1年
担当:日本語、子ども風音声

周 显齡さん
人文学部 表現学科 3年(留学生)
担当:中国語音声、ポスター作成

櫻井 凜佳さん
人文学部 表現学科 1年
担当:日本語音声

紫藤 美咲さん
人文学部 表現学科 3年
担当:ポスター作成

NGO THI KIM THUさん
経営学部 観光経営学科 1年(留学生)
担当:ベトナム語音声

*学年は取材時のもの

やりたいことがあって
遊びに来た。だから、
チャンスはつかみに行く!

淑徳大学では地域社会連携の一環として、外部団体から依頼される制作物の作成や司会などを体验し、自分たちの表現で地域貢献する機会があります。

今回は、埼玉県警が実施した「見せる・知らせるパトロール」に多めました。日本語アナウンスは、全年を対象に学内オーディションが行われました。声を使った仕事や芝居表現をめざして人文学部表現学科で学んでいる佐藤さん、藤田さん、櫻井さんは、「これはチャンスだ!」

想像力を働かせ、
創造につなげる。それが、
表現の可能性を広げる

大学生活を送る

昨年12月には、埼玉県警察機動



「見せる・知らせるパトロール」は、犯罪防止のため、特殊詐欺などを呼びかける音声を多言語でパトカーから流すものです。また、パトロール強化の広報のため、ポスターが制作されました。アナウンス担当者は、台本に沿って振られた役の声をつくり、レコードティングに臨みました。小学校高学年の学級委員長という役がついた藤田さんは、「自分の声はどうかというと年齢より上に聞こえるので、子どもの声に近づくよう、当日まで何回も試行錯誤しました」と明かします。佐藤さ

んも、「パトカーから流れる音声なので、今まで自分が聞いたことのある呼びかけをイメージして、ゆっくりと読むよう心がけました」と話しました。櫻井さんは「住宅街に音声が広がるので、穏やかに日常生活を送っている方々に向けて、やわらかい声を意識した」そうです。

周さんは、ボスター制作を進めるうえで「いろいろな人が遠くからでも見えるよう、字や画像を大きくしました」と工夫を語ります。それぞれの立場で、求められていることを考え、持てる力を精一杯、表現につなげました。

より豊かな

大学生活を送る

センターでパトロールの出発式が行



われ、学生たちも警察官の制服を着用して参列しました。実際にパトカーに乗り込み、生でアナウンスする機会もあり、貴重な体験となりました。学生たちのアナウンスやポスターは評判が高く、埼玉県警から感謝状が贈られました。(写真右下)

このような経験を経て、学生たちは将来に向けた目標や手応えを持つたようです。最初は「力試し」という感覚だったという櫻井さんは、「一緒に参加した佐藤先輩の優れたアナウンス技術を目の当たりに

学生たちの成長の機会は、大学内だけでなく、学外にも多くあります。今だからこそ出来ることは何か、一人ひとりが道を摸索し、切り拓いていく。そんなたくましさを身につけ、輝いています。

学祖・長谷川良信先生の足跡

—写真から広がる長谷川良信先生の世界—



1 アメリカ滞在

1954年2月のブラジル開教(第一次)の前に、良信先生はアメリカに滞在したことが知られています。日本出発は前年11月下旬で、ロサンゼルス(12月16日着)を経て、シカゴ(翌年2月9日着)に1週間程滞在しました。シカゴからバスで一昼夜かけてニューヨークへ移動して10日間滞在し、その後ブラジルへ向かいました。



▲ ケアー本部での長谷川良信先生(右)

2 アメリカでの活動

良信先生はアメリカ滞在中、大学や図書館で調査をし、また慈善施設のハル・ハウスをはじめ、諸施設も視察しています。ニューヨークでは、民間援助団体ケアの一斡旋で各福祉機関やコロンビア大学を訪問しています。2月17日には、日本の移民問題について日本領事館や初代国連大使の沢田廉三氏の所へも足を運んでいます。

3 ケア一本部訪問

ケア一本部でアメリカ国民に向けて感謝メッセージを2月18日に正式に伝達しました。フレンチ総長(Paul Comly French, 1903~1960)のほか、ネフペルー代表、ゴルトン創立幹部が立ち会っています。「なかなかフォーマルな一場面を持ちました。」と良信先生は書き残しています。

4 良信先生の感謝状

良信先生がフレンチ総長に手渡した感謝状では、アメリカ国民が多年にわたって、その好意と愛情で救援物資を日本国民に寄贈したことへの感謝を伝えています。感謝状では「民間人として、国民の感謝を率直にお伝え申し上げたい」とし、ケアーの支援を引き続きお願ひしています。

5 ケア一本部訪問の意義

重要なことは、良信先生が「民間代表」という立ち位置で臨んだことです。良信先生は民間人として、民間団体の代表としてケアーを訪問しました。そしてケアーも民間の援助団体でした。国や政府に依らない民間人・民間団体どうしの交流を取り持ったところに大きな意義があります。

参考文献
長谷川良信「第一次 ブラジル遊記」1963年
『学祖 長谷川良信先生 生誕120年記念展図録』2010年
長谷川匡俊「長谷川良信の生涯」2020年



淑徳大学アーカイブズ(千葉キャンパス1号館3F)▶

【専門看護師とは】

水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師です。看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得後、専門看護師認定審査に合格することで取得できる資格。全国で約2,900人が活躍しています(2021年12月現在)。専門看護師の「専門看護分野」には、がん看護、精神看護など13分野があります。



看護学科2期生の菅さん。4年次には国家試験に向けて、四六時中、勉強していたそう。先生や外部講師の方々の熱心な指導もあり、2期生は全員合格という快挙を成し遂げる

急性・重症患者看護専門看護師 菅 侑也さん

看護学部(当時) 看護学科 2012年卒
社会福祉法人 親善福祉協会
国際親善総合病院 看護部



4、5年経った頃、私の働き方を見ていていた看護師長さんから、専門看護師への道を勧められました。高度救命救急センターで海外で働く道なども考えていました。時期だったので、背中を押され、専門看護師への挑戦を決めました。

この資格の取得には大学院進学が必要で、大学時代の先生に相談に乗っていただきました。卒業後も変わらず心を寄せ、手厚いサポートをしてくださいます。

専門看護師としてのキャリアは始まつたばかりです。これから私の学びや経験を病院や地域の看護の質の向上につなげたいです。これまで支えてくださった方々に、仕事を通じて恩返しをすることが今の目標です。

大学では福祉や教育、心理など
を学ぶ。自分とは全く異なる視点
を持つ人たちに出会い、刺激を
受け、考え方が深まりました。ま
た、看護学科の友人は同じ仕事に
就いている人も多く、今も連絡を
取り合っていますが、大学時代の
学びや出会いは成長の糧だと感じ
ています。今の自分をさらに成長
させるために、大学生活をもう一
度、一からやり直したいとさえ思
る」とか「いかに大切であつたか
を改めて感じています。

卒業後10年経て今なお
新鮮な淑徳大学での学び



専門看護師の道に進む

2012年、集中治療室の看護師としてスタートを切りました。大学時代一年次から豊富な実習経験を積みましたが、さすがに集中治療室での実習は未経験でした。命に関わる職場なので、入職して数年間は大きなプレッシャーの中、毎日のように参考書を読み直し、医師や先輩方にご教授いただいた

千葉第二キャンパス

県立千葉南高校を招いて高大連携講座を行いました 〈看護栄養学部〉

12月20日(月)に千葉第二キャンパスにて、高大連携事業協定を結んでいる県立千葉南高校の生徒15名を招き、講座を実施しました。看護学科では、高校で学んでいる物理が看護にどのように応用できるか、ボディメカニクスの観点から説明がありました。その後は実習室に移動し、講座の内容をもとに体位変換の実技を行いました。生徒たちは、本来なら入学しないと着られない実習着を着用し、キャラキラと目を輝かせていました。ぜひ、本学の受験を視野に入れ、将来活躍する看護職となっていただけることを期待します。



看護の基本となるボディメカニクス(身体力学)について学んでいます

看護学科就職個別相談会を行いました 〈看護栄養学部 看護学科〉

12月18日(土)に千葉第二キャンパスにて、看護学科3年生(102名)を対象に就職個別相談会を行いました。実習や就職でお世話になっている病院など、21施設、44名の職員の方々にお越しいただきました。中には現場で活躍する本学卒業生も多く参加され、なかなか聞けない現場のリアルなお話、職員寮、福利厚生など、何でも相談できる雰囲気でした。学生は将来の就職先候補として、担当者の話を真剣な眼差しで聞いていました。千葉県の保健医療を支える看護職として、卒業後も活躍していってほしいと思います。



担当者のお話に真剣に耳を傾ける学生たち

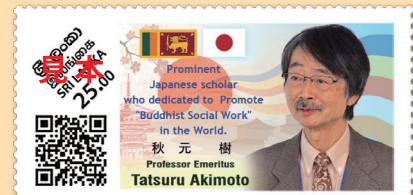
栄養学科おしごとセミナーの開催 〈看護栄養学部 栄養学科〉

2月12日(土)に、栄養学科キャリア支援ガイダンスとして1・2年生対象の「おしごとセミナー」が開催されました。今回は大学病院臨床栄養部及び委託給食業務企業の方にご講演頂き、若手管理栄養士としての立場からメッセージを伝えて頂きました。COVID-19感染予防のため対面・遠隔参加のハイブリッド形式実施となりましたが、学生からは管理栄養士業務や就職活動を行う上での心構えについての質問が多く挙がりました。自分の将来像への意識の高さがうかがえ、より専門化する今後の学修面にも繋がることを期待しています。



5年後・10年後の将来像を思い描きながら受講しています

SHUKUTOKU NEWS



敬意を表します。

2021年12月、スリランカ政府は秋元樹アジア国際社会福祉研究所名誉所長の「世界の仏教ソーシャルワークの発展への貢献」を敬い顕彰するという切手を発行しました。秋元先生はアジアの仏教ソーシャルワーク研究の3モデルと作業枠組み定義の策定、アジア仏教ソーシャルワーカー研究ネットワークの構築に貢献されました。また、その後の各国の自律的活動を促してきた秋元先生は、アジア参加者からは「仏教ソーシャルワークの父」と呼ばれ、その信頼と親愛の情は絶大なものでした。

スリランカ政府と仏教ソーシャルワーク研究を進める世界中の仲間たちの厚意に感謝するところともに、本学研究所の名前を広く知らしめた秋元先生のご功績に深い感謝と

特別記念切手発行
スリランカ政府より

千葉キャンパス

3つのソーシャルワーク実習の報告会を開催しました 〈総合福祉学部 社会福祉学科〉

•相談援助実習(専門実習) 報告会

学生、実習施設・機関の実習指導者が集い、報告会を開催しました。コロナ禍において146名全員が実習を終了できたことは、実習施設・機関との信頼と実績の積み重ねと言えるでしょう。学祖が目標とした「社会福祉の実践家養成」は55年間、着実に歩み続けています。



•精神保健福祉援助実習 懇談会

実習指導者、学生、教職員が集い、懇談会が開催されました。前半は学生の実習報告および実習指導者からのコメントをいただき、後半はコロナ禍での実習の受け入れと感染症対策についての情報交換を行いました。



•保健医療相談援助実習 報告会

4年実習生ならびに来年度実習予定の3年生、実習指導者が集い、報告会を開催しました。医療ソーシャルワーカーをめざす学生は実習報告と医療機関実習指導者からのコメントをいただき、次年度実習予定の3年生には準備の機会となりました。

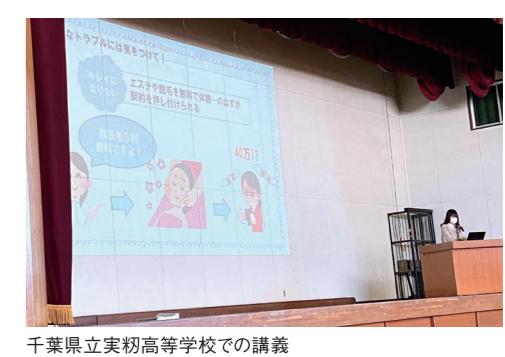
改正民法施行(成年年齢引下げ)を見据えた消費者教育の展開 〈コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科〉

改正民法(本年4月1日施行)によって成年年齢が引き下げられ、18歳や19歳の若者をめぐる消費者被害拡大が懸念されています。こうした懸念を踏まえたケーススタディ・ワークショップ(日野クラス)の主な活動を紹介します。



第1に、行政機関等と連携しながら、消費者被害防止動画コンテンツを制作しました。キャッチセールス等の短編ストーリーとして、脚本・絵コンテの作成から出演に至るまで学生が行いました。第2に、千葉県内の高等学校で開催された学習会にて「来年4月から『成年』(大人)になるということ」をテーマにして、学生が講師役を務めました。消費者ホットライン「188」の紹介等、クイズ形式を取り入れながら、楽しく講演を行いました。

引き続き、自律的な学びを喚起させる消費者教育の実践を展開ていきたいと思います。



東京キャンパス

博物館教育普及ボランティアへの参加 〈人文学部 歴史学科〉

歴史学科学芸員資格課程の学生が、2021年10月23日(土)に八潮市立資料館で開催された体験講座「昔の遊びツアー」に参加しました。このボランティア活動は、企画の段階からすべて学生の主導で行われ、学芸員の方々のサポートを得ながら、ポスター・チラシ・サインやワークシートの作成まで行いました。本番では、資料館の学習室や古民家において、わりばし鉄砲やヨーヨー・コマ・けん玉・メンコ・あやとり・折り紙など多彩な体験メニューを実施しました。八潮市内の小学生はもちろん、ボランティアで参加しているシニア世代のボランティアの方々との交流もでき、教育普及活動の運営を通して、博物館は地域社会におけるコミュニケーションの場として必要不可欠な存在であることを学生は実感できたようです。



体験会の様子



多くの方にご参加いただきました

板橋区が『学びの場』 〈人文学部 表現学科〉

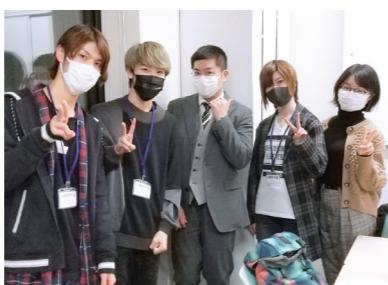
板橋区の公式Instagramに投稿された写真を使って、板橋で過ごす日常を紹介するリーフレットを表現学科の森田さん・川邊さん・倉持さん・紫藤さんが作成しました。文章・イラスト・デザイン・レイアウトから完成まで「毎日を特別な日に」という想いを込めて制作したリーフレットのタイトルは、「こもれび」です。「暮らしやすいが、叶うまち。」をキャッチコピーとしている、板橋で過ごす日常が実感できる完成度が高いリーフレットです。

また、12月には、板橋区立中央図書館にて開催された「はたらく大人のための癒しの朗読会」で、村田さん・藤田さん・松原さん・持丸さんがサン=テグジュペリの「星の王子さま」を朗読しました。参加者からは「プロ意識を感じた」などの感想が届きました。

板橋区全体が学生の「学びの場」となっている東京キャンパスです。



作成したリーフレット「こもれび」



朗読会の参加学生

メタバース空間における「埼玉キャンパス再現プロジェクト」完遂 〈経営学部・教育学部〉

2021年7月下旬～10月にかけて、埼玉キャンパスの2学部横断で「埼玉キャンパス再現プロジェクト」を実施し、無事完遂しました。

話題の「メタバース(仮想空間)」を先取りし、Minecraftの世界で埼玉キャンパスを隅々まで再現しています。

遠隔のコミュニケーションをメインとしながら、新しいこと尽くしの取り組みでしたが、約2か月半の作業を通じて完成させることができ、10月23日～24日のオンライン淑徳祭で発表しました。

建物の形や外観の再現のみならず、教室の中まで再現したキャンパスは、一度でも埼玉キャンパスを訪れたことのある人であれば、「ここ知ってる!」と嬉しくなるはずです。

バーチャルキャンパスマスター動画、そしてバーチャルPV動画の2本をYouTubeにアップしており、どなたでも見ることができます。是非ご覧ください。



キャンパスマスター編



淑徳大学をマイクラで再現してみました

キャンパスマスター動画▶

<https://www.youtube.com/watch?v=n8ZDkNDEVdI&list>



バーチャルPV動画▶

<https://www.youtube.com/watch?v=4MZW6cjSEPY>



「英語力向上」に関する取り組み 〈教育学部 こども教育学科〉

小学校5、6年に外国語科、3、4年に外国語活動が設けられ、ネイティブスピーカーのALT(外国語指導助手)等と協力しつつ英語の授業を行うことが、小学校の教師に求められています。

教育学部では、4年間にわたる体系的かつ実践的な英語・英語指導の学習機会を提供する取り組みを行っています。こども教育学科の正課の科目として「コミュニケーション英語I～IV」のほか、「英語」、「初等英語科教育法」、さらに希望者向けに「短期海外研修」(オーストラリアの学校での体験を含む。)を設けています。また正課外で、インターナショナルスクールでのボランティア活動の機会を設けるとともに、「英語力向上講座」(英検対策と英語教育法対策)を実施しています。

正課外での学習
(英検対策講座)小学校の外国語科の
指導に参加しました
(英語教育法対策講座)

2023年からの新たな展開

多様な人が集まる 東京で展開

人文学部

人間科学科

東京キャンパス

都市と地域をつなぐ埼玉で展開
地域創生学部

地域創生学科

埼玉キャンパス

ビジネスの最先端 東京で展開

経営学部

経営学科

観光経営学科

東京キャンパスへ移転計画中

2023年4月
開設予定
(設置構想中)

2023年4月
移転計画中

2023年4月からの新たな展開として
地域創生学部 地域創生学科、人文学部 人間科学科を新設し、現在の総合福祉学部、コミュニティ政策学部、看護栄養学部、教育学部、経営学部、人文学部と合わせて**7学部13学科**を擁する大学へと発展します。

経営学部は、**東京キャンパス**に移転し、
よりビジネスとの連携を重視した教育へと改革を行っていきます。

※経営学部のキャンパス移転は、2023年4月
入学生からになります。



特設サイトはこちら

※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合があります。

7学部13学科の多彩な学び

千葉キャンパス	千葉キャンパス	千葉第二キャンパス	埼玉キャンパス	埼玉キャンパス	東京キャンパス	東京キャンパス
総合福祉学部 ・社会福祉学科 ・教育福祉学科 (学校教育コース・健康教育コース) ・実践心理学科	コミュニティ政策学部 ・コミュニティ政策学科	看護栄養学部 ・看護学科 ・栄養学科	教育学部 ・こども教育学科	地域創生学部 ・地域創生学科 ※2023年4月開設予定 (設置構想中)	経営学部 ・経営学科 ・観光経営学科 ※2023年4月 東京キャンパスへ移転計画中	人文学部 ・歴史学科 ・表現学科 ・人間科学科 ※2023年4月開設予定 (設置構想中)

発行日 | 2022年4月1日

編集 | 淑徳大学 大学広報誌編集委員会

発行 | 淑徳大学 大学事務局

大学広報誌制作における 新型コロナウイルス 感染防止策について

本誌の制作では、写真撮影は密を避けながら短時間で実施し、取材は電話やオンライン会議システムを活用しました。新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら、制作にあたりました。

□ 千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部
大学院 総合福祉研究科
〒260-8701
千葉県千葉市中央区大巣寺町200
Tel 043-265-7331

□ 千葉第二キャンパス

看護栄養学部
大学院 看護学研究科
〒260-8703
千葉県千葉市中央区仁戸名町673
Tel 043-305-1881

□ 埼玉キャンバス

経営学部 教育学部
〒354-8510
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
Tel 049-274-1511

□ 東京キャンバス

人文学部 淑徳大学短期大学部
〒174-8631
東京都板橋区前野町6-36-4
Tel 03-3966-7631

大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。
保護者や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」をお届けします。
皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、右記
QRコードより読者アンケートへのご協力をお願い致します。



公式HP



公式Twitter



アドミッションセンター
公式Twitter



公式Facebook

※2021年11月より新アカウントにリニューアルしました。
旧アカウントをフォローされている方は変更をお願い致します。